



■進路内定状況 <就 職>

今年度の求人・内定状況を振り返ってみます。2020年1月15日の新型コロナウイルスの国内感染が確認されて以降、私たちの生活は様々な制限を余儀なくされてきました。生徒の約8割近くが就職を希望する本校におきましても、応募前見学や入社試験においてもコロナ禍以前の対面形式から、オンライン面接へシフトが進んだ企業もあります。コロナ禍の現在において、企業・生徒の双方にとりまして今年も昨年同様、対応の難しい環境下での求人・就職活動となりました。

一方、県内企業の求人動向からは、本校が強みを持つ製造業では繊維機械や金属機械加工を中心に生産活動が拡大しつつあります。また建設業だけではなく電気の分野においても、明るい先行きが示されています。昨今の円安や物価高など不安要素は多々ありますが、社会全体がコロナへの対応に経験値が増してきた中、企業の経営活動の活発化が期待されます。その先取りが求人であり、県内全体では高校生に対する求人約3.41倍に対し、本校では4~5倍の求人を頂いています。県外企業では知名度の高い企業を中心に7~8倍の求人を頂いています。昨年12月21日時点で就職希望者163名に対し100%の内定（公務員7名・縁故2名を含む）を得ることが出来ました。生徒自身の努力、そしてご家族の方のご支援があってこそその結果であると感じ申し上げます。

新年度に向けて1・2年生は、インターンシップ・デュアルシステム・企業ガイダンス・模擬面接などを通じて、企業の話聞く機会があります。ぜひこれらの機会を有効に活用してもらいたいと思います。また応募前見学は2社参加できます。事前に生徒は見学先の調査を行うのですが、複数の会社を見ることによ

って、新しい気づきがあるものと思います。第一希望の会社と同じように、もう一社もしっかりと自分の目で確かめることが重要となります。

企業によっては、選考試験に適性検査や学科試験を課す企業もあります。また特定の資格を有していないと、受験できない企業もあります。普段の勉強を大切にして、一日一日を充実した高校生活となることを心より願っております。

■進路内定状況 <進 学>

今年度は64名が上級学校に進学し、昨年度と比較して約5割増える結果となりました。

その中で4年制大学の進学者数は33名で進学者全体の半数を超えています。国立大学は富山大学が1名、私立大学は32名でした。進学先としては、金沢工業大学や福井工業大学をはじめとした北陸3県の私立大学で全体の9割を占めています。残りの1割は域外の大学に進学しました。

また、短大の進学者は3名で、専門学校の進学者は28名でした。情報・映像、理美容、調理、自動車、エネルギー、動物関係などさまざまな分野へと進学します。今年度は特に情報系、映像系、理美容系に人気が集まった結果になりました。

今年は指定校推薦を利用して、進学した生徒が全体の約半分でした。指定校推薦には人数制限もあり、進学方法や進学先を変更せざるを得ないこともありました。

進学を希望する生徒は、普段から学習面、出席日数、学習態度などに力を入れて過ごしていました。進学が内定しても進学先からの課題に取り組むなど最後まで一生懸命でした。進学後もそのような気持ちを持ち続け、さらに自分自身を成長させてほしいと思います。